

◇編集後記◇

『とい』三二号にも四編を掲載する◇十九世紀の英国、三世紀～七世紀の日本、二十一世紀の日本、四世紀の地中海を舞台とする論考である。これらの点をつなぐ線は、たえざる「といかけ」である。今の日本の状況を直接問うものではないが、しかし、「とい」の姿勢を示そうとするものである◆イエズス会詩人ホプキンスの神髄はソネットにある。その一編を読み解く試みを冒頭に掲載する◆次なる論考は、古代日本の統治・支配体制を明らかにする。何のための、誰のための政治かが問われている現在、はるかな視座の高さが必要とされる◆混迷する大学制度の中で、大学入試改革論もまた時を待たないが、めまぐるしく展開する言説にまどわされないために、一読したいのが三番目の論考である◆以上をしめむすぶのは、わたしたちに「神の配慮」というものを、きづかせてくれる、あざやかなかたりである◇今年もまた、ささやかながら、皆様に『とい』をお届けします。<<>

編集・発行： グループ帆（代表 / 松崎 一平）

〒930-8555 富山市五福 3190

富山大学人文学部内人間学（松崎）研究室